

交差点106号

発行：札幌市交通安全運動推進委員会
令和6年7月

しんごうき あおでもかくにん わすれない

内閣府特命担当大臣賞

じゅんびした？ じてん車のるとき ヘルメット

全日本交通安全協会会長賞

「令和6年使用交通安全年間スローガン」（全日本交通安全協会・毎日新聞社）【こども部門】より



夏の交通安全について保護者の皆さまへ

まもなく、子どもたちが心待ちにしている夏休みを迎えます。

屋外での活動機会も増えるこの時期は、例年子どもたちを巻き込んだ交通事故が多く発生する時期でもあります。

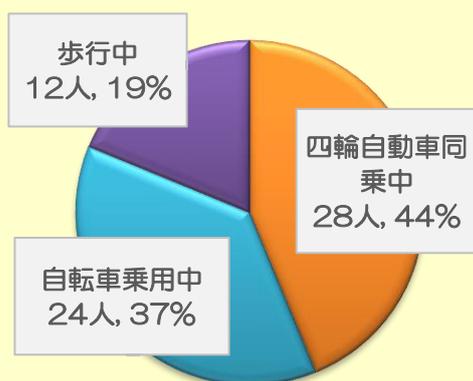
令和5年中の札幌市内における中学生以下の子どもの交通事故死傷者数は236人。7月から9月にかけての期間には、64人が交通事故により負傷しています。

交通事故に遭うことなく夏休みを楽しく安全に過ごすことができるよう、ご家庭でも交通安全について話し合い、子どもたちの交通安全意識を高めていただきますようお願いいたします。

札幌市内における中学生以下の交通事故実態

令和5年1月～12月の死者数	0人（前年比：-1人）
負傷者数	236人（前年比：+52人）
夏期間（令和5年7月～9月）の死者数	0人（前年比：±0人）
負傷者数	64人（前年比：+1人）

中学生以下の状態別負傷者数（令和5年7月～9月）



夏の交通事故を状態別で見ると、四輪自動車同乗中の負傷者が最も多い結果となりました。夏休み中の旅行など、自動車での移動をする機会も増える時期です。交通事故から身を守るため、自動車に乗る際は、全席シートベルトの着用を徹底しましょう。

また、歩行中や自転車乗車中の事故を防ぐため、道路を渡るときなどは車が来ていないか安全確認をしっかりと行いましょう。万が一の事故から身を守るため、自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう。

交通安全指導のポイント

- 飛び出しによる事故を防ぐため、道路や道路のそばで遊ばないように指導しましょう。
- 自転車は車と同じ「車両」です。ルールを守って安全に利用しないと重大な事故につながることをしっかりと伝えましょう。自転車乗用時には必ずヘルメットを着用させ、安全な乗り方について指導しましょう。
- 道路を渡るときは必ず横断歩道を渡ること、横断する前に周囲をよく確かめることなどを一緒に確認しておきましょう。

交通ルールとマナーを守って、楽しい夏休みを過ごしましょう

自転車による事故をふせぐために

- 歩道は歩行者が優先です。
自転車はスピードを落として、歩行者の安全を守りましょう。
- 交差点では信号と一時停止を守って、しっかり安全確認しましょう。
- 暗くなってきたらライトを点灯しましょう。
- ヘルメットを着用しましょう。
- もしものときに備えて、自転車保険に加入しましょう。



どろをわたるまえに

と ま る



くるまがこないか

み る



くるまのおとを

き く



くるまがとおりすぎるまで

ま つ

